

# 第2期塩尻市下水道ビジョン概要版

多彩な暮らしを支え続ける下水道の10年間の構想

(計画期間：令和8年度～令和17年度)

---

塩尻市水道事業部下水道課



塩尻市水道イメージキャラクター  
(左側：分ちゃん・右側：嶺ちゃん)

## 第1期ビジョンの主な成果

第1期ビジョン（平成28年度～令和7年度）に基づき、計画された施策を実行してきました。



### 計画的な点検・調査

主要な幹線のカメラ調査を一巡完了し、管路の状態を正確に把握しました。



### 施設の集約化

4つの農業集落排水処理場を廃止し、効率的な汚水処理システムを構築しました。



### 民間活力の導入

塩尻市浄化センターの管理運営に包括的民間委託を導入し、管理体制を強化しました。

## 第2期ビジョンの必要性

塩尻市の下水道事業は、社会情勢の変化に伴い、3つの大きな課題に直面しています。



### 施設の老朽化

事業着手から50年以上が経過し、管路や処理場施設の老朽化が進行。今後、更新投資の増大が見込まれます。



### 厳しい経営環境

人口減少に伴う使用料収入の減少が見込まれ、将来的に自立的・安定的な経営の持続が困難になる可能性があります。

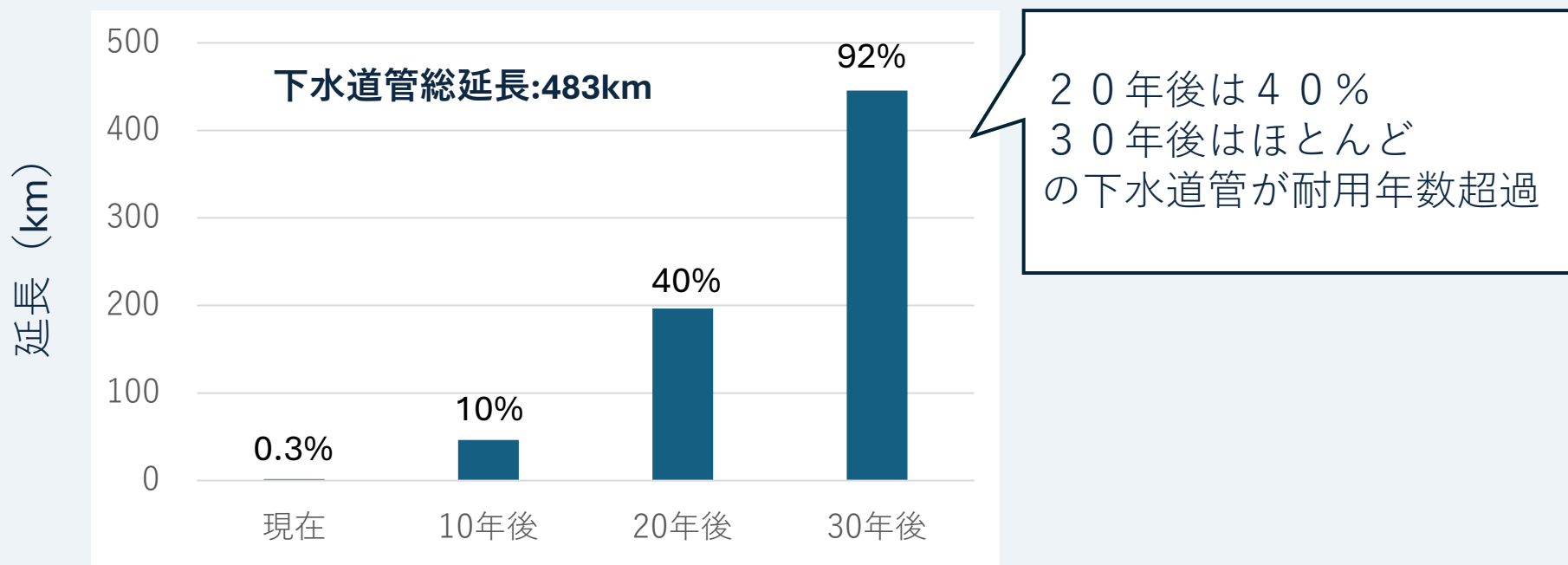


### 頻発する自然災害

大規模地震や局地的な大雨など、災害リスクが増大。市民生活を守るため、機能確保と被害軽減の取組強化が急務です。

# 施設の老朽化：目前に迫る更新時期の集中

耐用年数（50年）を超える下水道管は、加速度的に増大します。



耐用年数超過管路の累積延長

下水道管は計画的な維持管理と更新が不可欠です

## 第2期ビジョンで実現するありたい姿

このビジョンは、第六次塩尻市総合計画が目指す「多彩な暮らし、叶えるまち。」の実現を、下水道事業の側面から支えるものです。

### 快適な暮らしの基盤

多彩な暮らしの基盤として、下水道がまちの質と幸福感を高め続けている。



### 強靱で安定した下水道

老朽化・災害リスクに備え、強靱かつ安定した下水道サービスが確保されている。

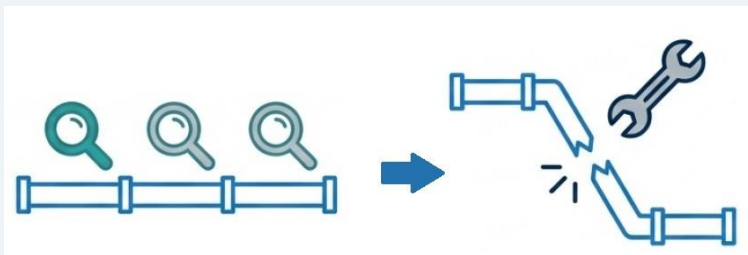
### 持続可能性に貢献

脱炭素・資源循環などの取組を通じ、本市の持続可能な発展に貢献している。

多彩な暮らしを支え続ける下水道

## 第2期ビジョン基本方針1「持続」

現在の資産を守り続けていきます。



### 計画的な点検調査の実施

傷みやすい場所の下水道管は点検を増やすなどメリハリをつけた点検調査を行い、その状況を見て修理や改築をしていきます。



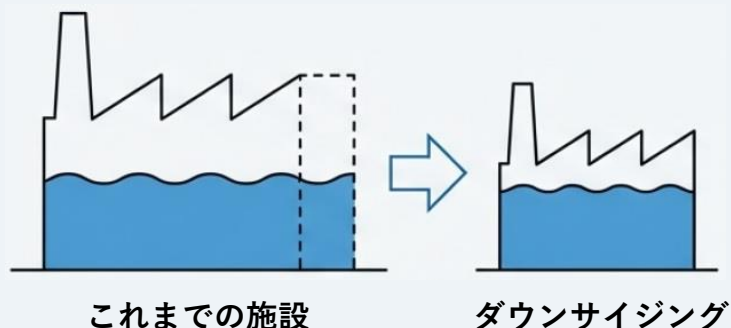
### 経営戦略の定期的な検証と改定

策定した経営戦略を固定的なものとしせず、実情に合わせて定期的に見直すことで、実効性を高めます。

維持管理の強化（官民連携の推進）、施設の耐震化対策なども行います

## 第2期ビジョン基本方針2「進化」

脱炭素社会への適応とシステムの最適化を推進します。



### 既存施設のダウンサイジング

人口減少に伴う汚水量の減少を見据え、過大な設備を持たず、身の丈に合った「ダウンサイジング」を進めることで、将来世代への負担を軽減します。



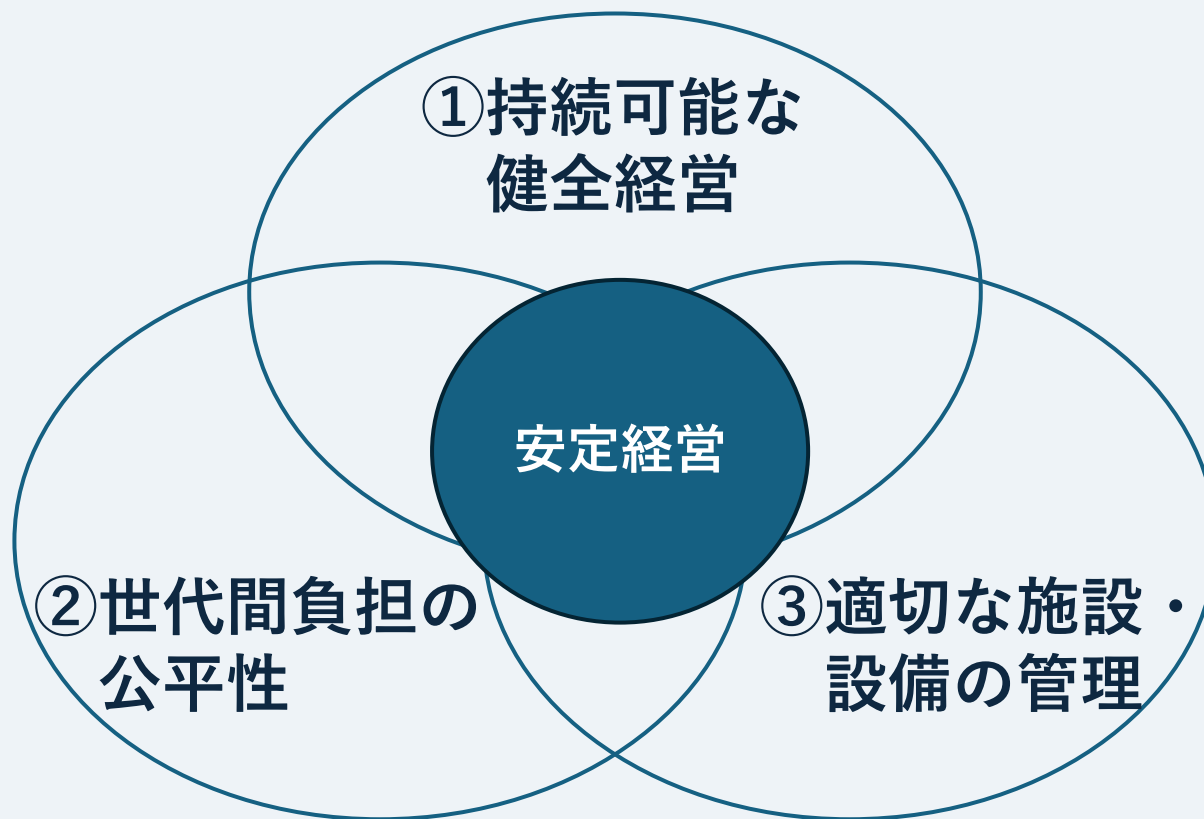
### 創エネルギー技術の導入

下水処理過程で発生するバイオマス（消化ガス）を有効利用し、発電事業を行うことで、エネルギーの地産地消と温室効果ガスの削減に貢献します。

分水嶺のまちの責任として、適正な污水处理を継続します

# 持続可能な経営に向けた財政計画

本ビジョンを推進することで、安定経営を実現します。



下水道を使い続けるため、定期的に使用料の見直しを行う必要があります